

給与水準の引上げによる新規就業者の確保、定着率の向上(松江森林組合／松江市)

取組概要

<背景・目的>

- 近年、スギ・ヒノキの人工林が利用期を迎えていることを背景に、原木生産事業やそれに伴う再造林・下刈り作業が増加する中、担い手の確保が課題となっていた
- 新規就業者の確保及び就業者の定着強化を図るためには、給与水準や初任給の引上げが必要

<取組内容>

- 令和5年度に、現場技能者の給与体系を見直し、従前と比較して給与水準を約15%引き上げた
- 初任給も併せて見直しを行い、約12%増となる193,000円（高卒程度）に引き上げた



伐倒作業



下刈り作業



プロセッサによる枝払・玉切作業



作業の合間にミーティング

取組の効果

- 給与水準の引上げにより現場技能職員の仕事への意欲が高まり、作業効率も高まりつつある。
- 新規就業者は、令和4年度に2名、令和5年度は3名となるなど、新規就業者の獲得にも効果が現れ始めている。
- 令和6年度以降も数名の新規就業者の確保を期待している。

今後の取組

- 現場技能者のモチベーションを更に高めるため、給与水準の引き上げに加え、「しまね林業士制度」等を活用した技能手当の導入を検討する。
- 完全週休2日制の導入を検討しており、新規就業者の確保や就業者の定着化に向け労働条件の一層の改善に務める。